

年頭のごあいさつ

令和5年の年頭を迎えるにあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、日ごろから町政の推進にあたり、多大なご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年の2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻は未だ収束が見えず、日本経済にも多大な影響を及ぼしております。日本では、コロナ禍や原油高、円安の影響もあり、厳しい経済状況です。

新型コロナウイルス感染症は、年明けより第6波に突入り、まん延防止措置が取られました。コロナ株は変異を繰り返し、年末から感染者が増えてきております。町民の皆さまには、引き続きワクチン接種と感染対策をお願いいたします。

役場新庁舎建設につきまして、建設期間中はご迷惑をおかけしましたが、9月26日に供用を開始することができました。

「広川の未来を描くみんなの庁舎」をコンセプトに、町

のシンボル・防災拠点施設として、皆さまに長く利用していただきたいと思っております。今年、旧庁舎を解体し、駐車場などの整備を行います。屋上は広川町を一望できる展望スペースとなっておりますので、ぜひ一度お越しください。

物価高の影響は今後も続くと予想されますが、町民の皆さまとともに、福祉の向上と広川町の更なる発展に努めて参りますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとって幸多からんことをお祈りし、新年のごあいさつとします。

広川町長 渡邊 元喜
副町長 飯田潤一郎
教育長 富山拓二郎



広川町長
渡邊元喜



皆さまの温かいご理解とご協力により、議会活動を円滑に運営できることを厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染の収束に向け、国内外の動きが活発化しようとする中で、さまざまな現場でご尽力いただいている皆さまにも、改めて感謝申し上げます。

議会と町長をはじめとする執行機関の関係は、よく「車の両輪」に例えられますが、お互いが対等の立場で議論し、条例や予算などの意思決定を行うのが議会だと考えています。町の方向性を決定する重要な役割ですので、決めたらそれで終わりではなく、議決責任と説明責任をどのように果たしていくかが重要です。そのためには、どのような議会を目指していくか、今年もう一度、議会内の意思確認を図りたいと思います。

昨年の9月から運用を開始した新庁舎の議場は、議事録作成システムや映像配信設備を導入し、傍聴席はバリアフリー化して35席を設けています。ぜひ議会傍聴においでく

ださい。

議場も一新され、物の豊かさを感じる今日ですが「心の豊かさ」を原点とした議会運営を志し、誰もが行政運営に参加していると感じていただけるような議員行動を心掛けたいと思います。

本年もより一層のご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

広川町議会

議長 野村泰也

副議長 梅本 哲

議員 山下 茂

竹下英治

江藤美代子

丸山修二

池尻浩一

野田成幸

丸山幸弘

栗原福裕

水落龍彦

光益良洋

原野利男



広川町議会議長
野村泰也

